



2017年秋塾の講演から

野田佳彦氏前内閣総理大臣  
内外情勢について

(9月5日)



国家経営の要諦には、①政と官の関係をキチンととる。②日米関係を重視する。③皇室を大切にする。の三つがある。安倍政権では「付度」(そんなく)が流行語になっているが、付度の意味は、両方とも「おもんばかり」というもの。官邸と霞ヶ関の役人がお互いに付度し、結果、加計、森友問題を生んだのである。

北朝鮮はミサイルと水爆を手に入れたといっている、現状は危機的な状況だ。石油の禁輸の制裁によって制裁効果も出るだろうが、危険を生む。対話と圧力を、我慢して続けることだ。この点では与野党一致で当

佐高 信氏評論家

(10月31日)

与党が議員数にあわせて質問時間を配分するという話があった。ゼミの先生だった峯村光郎慶應大教授が「平等なものは平等に、不平等なものには不平

いま、日本を読む

味が分からないという話がある。「絶望」という抵抗」という対談集と一緒に出した辺見庸と一致したのは「日本に無いのは希望ではなく絶望」だ。とんでもないことになると思う絶望をくぐった希望でしか信じられない。明るい話でごまかしているからほとんど病は深化していく。深く絶望

等には扱われるのが平等だ」と言ったのをよく覚えている。与党はドーンと構えて、野党にもいくらでも取れよ、ということをして初めて平等になる。自民党はそこが全くわかっていない。ジャーナリストの先達、松本重治は「日米関係はすなわち日中関係だ」と言っていた。日

たる必要がある

皇室は、結婚によってどんどん皇室から離脱され、宮家が少なくなっている。一方、男子直系を維持するには、男子を産まなければという難しさがああり、いろんな緊張感が皇室にある。だから宮家の減少をなくすという緊急の課題に立ち向かうこと、その上で、将来は女性天皇も認めるという方向で考えていくことが必要になっていく。



「下町ボスレ」の挑戦

(9月12日)

東京都大田区で製造業をやっている、今年で創業25年になる。我々の地域は「モノづくりの城下町」と言われている。す

ごいテクノロジを持ってたところがたくさんあり、一緒にモノづくりに携わることが大事なのではないかと考えた。まず自分たちの技術を世界にアピールする。これはオリンピックの競技が一番いい。もう一つは炭素繊維にこだわり、炭素繊維で作った製品をオリンピックに投入していく。何がいいかなと思ったところで、ボスレというものに当たった。いろいろPRの方法を考え、ドラマ化され、ドキュメンタリーにもなった。大田区では1億ぐらいの経済効果があったという数字が出ている。



2018年春塾 講師紹介 (予定、敬称略)



「全開！五感で生きるハイテク時代」

4月10日

福田 淳

(ふくだ・あつし)  
ブランドコンサルタント  
/ソニー・デジタルエンタテインメント前社長

1965年、大阪府生まれ。88年3月 日本芸術学部卒業。衛星放送「アニマックス」「AXN」などの立ち上げに関わったのち、2007年にソニー・デジタルエンタテインメント創業・初代社長に就任。17年、ブランドコンサルタントとして独立。新しい世界を切り開くリーダーとして、カルティエ提供の「チェンジメーカー・オブ・ザ・イヤー 2016」を受賞。



「わが国の三大危機と2020年問題」

4月17日

村上 誠一郎

(むらかみ・せいいちろう)  
衆議院議員

1952年、愛媛県今治市生まれ。東京法学部卒業。86年、衆院選に初当選し、以降11期連続当選。この間大蔵政務次官、衆議院大蔵常任委員長、財務副大臣などを歴任。2004年第2次小泉改造内閣で国務大臣(行政改革・構造改革特区・地域再生担当)・内閣府特命担当大臣(規制改革・産業再生機構担当)として初入閣。現在、衆議院予算委員会委員、自民党総務、税制調査会副会長、海運・造船対策特別委員会委員長などを務める。



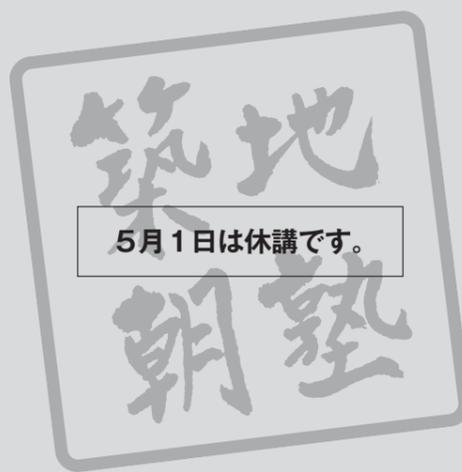
「ゴルフが上手になりたいですか？  
ゴルファーになりたいですか？」

4月24日

倉本 昌弘

(くらもと・まさひろ)  
日本プロゴルフ協会会長

1955年9月、広島県生まれ。日本大学時代に日本学生ゴルフ選手権4連覇。81年プロテストに合格し、PGA入会。プロデビュー戦で優勝、ツアー競技で4勝し賞金ランク2位。92年に25勝目をあげて永久シード獲得。通算43勝。ゴルフ界改革に取り組み97年「PGAツアー・オブ・ジャパン」を発足させ、99年「日本ゴルフツアー機構(JGTO)」を立ち上げる。2014年から日本プロゴルフ協会会長。



5月1日は休講です。



「なぜ ふるさと納税？」

5月8日

須永 珠代

(すなが・たまよ)  
トラストバンク代表取締役

群馬県伊勢崎市生まれ。2012年に「トラストバンク」社を設立。同年秋、ふるさと納税にかかわるサービスで地方自治体と納税者との間を取り持ち、納税代行サービスを行う総合サイト「ふるさとチョイス」を立ち上げる。契約自治体は全178自治体の7割を超える。返礼品は15万点を扱い、業界最大。最近では災害の復興支援などを目的とした寄付金に使う自治体も少なくない。



「AI時代、難しい時代の思考の整理(仮)」

5月15日

外山 滋比古

(とやま・しげひこ)  
英文学者、文学博士、  
評論家、エッセイスト

1923年、愛知県生まれ。東京文理大(現・筑波大)英文学科卒業後、同大学特別研修生修了。文学博士、51年より、雑誌「英語青年」(現・web英語青年)編集長となる。東京教育大学助教授、お茶の水女子大学教授を務め、89年、同大名誉教授、昭和女子大教授。専門の英文学、思考、日本語論の分野で活躍を続ける。主な著書に「思考の生理学」(ちくま文庫)、「日本語の作法」(新潮文庫)など。



「まだ間に合う、未来へ向けて飛躍せよ」

5月22日

福井 俊彦

(ふくい・としひこ)  
元日銀総裁/キャノングローバル戦略研究所理事長

1935年生まれ、大阪府出身。58年東京大学法学部卒業、日本銀行入行。89年同銀行理事。94年12月～98年3月副総裁。富士通総研理事長、経済同友会副代表幹事を歴任。2003年3月～08年3月日本銀行総裁。08年12月一般財団法人キャノングローバル戦略研究所理事長就任、現在に至る。



「長期の視点とビジネス一例えば気候変動について」

5月29日

玉木 林太郎

(たまき・りんたろう)  
元OECD事務次長/国際金融情報センター理事長

1953年11月生まれ、東京都出身。76年東京大学法学部卒業、大蔵省入省。証券局、主計局、国際金融局、財務官室長、世界銀行理事代理などを経て2002年7月～05年7月 在米日本大使館公使。大臣官房審議官、国際局長、財務官を歴任し、11年8月財務省退官。11年8月～17年7月OECD事務次長。17年10月公益財団法人国際金融情報センター理事長就任、現在に至る。



「照明デザインと照明探偵団」

6月5日

面出 薫

(めんで・かおる)  
照明デザイナー、ライティング  
プランナー/アソシエーツ代表取締役

1950年6月、東京都生まれ。東京芸術大美術学部卒業。男性東京国際フォーラム、JR京都駅、六本木ヒルズ、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、JR東京駅丸の内駅舎ライトアップなどの照明計画を担当。著書に「世界照明探偵団」鹿島出版会、「陰影のデザイン」六耀社、「LPA 1990-2015 建築照明デザインの潮流」六耀社など。照明文化研究会「照明探偵団」の団長。



「女性アナウンサーはいかにして女子アナになったか」

6月12日

南 美希子

(みなみ・みきこ)  
エッセイスト、司会者、  
TVコメンテーター

東京生まれ。聖心女子大3年時にテレビ朝日アナウンサー試験に合格し、1977年同局アナウンサー部入局。女性アナとして初めてバラエティ番組に出演。86年独立。以来テレビ・ラジオ・講演・シンポジウムのコーディネーター・司会などで活躍。アンチエイジング医療・美容の体当たり取材には定評がある。現在フジテレビ「バイキング」などにコメンテーターとして出演。



「核なき世界に向けて」

6月19日

川崎 哲

(かわさき・あきら)  
核兵器廃絶国際キャンペーン  
(ICAN)国際運営委員

1968年生まれ、東京都出身。東京大卒業。2003年にNGO「ピースポート」に入り、現在は共同代表。08年から被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を実施。2017年のノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」の日本人唯一の運営委員として授賞式にはヒバクシャと一緒に出席。1月、フィンICAN事務局長が来日した時は各地と一緒に回った。



「真実を見極める努力を」

6月26日

宮内 孝久

(みやうち・たかひさ)  
神田外語大学長

1950年9月、東京都生まれ。75年早稲田大学法学部卒業、三菱商事入社。88～91年、同社リヤッド支店勤務。湾岸戦争に遭遇し、地政学に対する多くのヒントを得る。2005年同社執行役員。常務執行役員化学品グループCEOを経て13年、同代表取締役副社長化学品グループCEO。18年、神田外語大学学長に就任。横浜市教育委員、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)協会理事も務める。



### 築地朝塾を分かりやすく紹介「朝塾ビデオ」が完成しました。



朝塾のホームページからご覧いただけます。平本塾長の熱い思いや参加塾生の声のほか、朝塾後援者でもある岡本行夫・外交評論家からのメッセージもあります。ビデオは約8分で、朝塾を広くPRするためにご活用ください。

### ビズリーチ社と共催で説明会

就職支援会社のビズリーチ社は登録会員向けの情報の一つとして朝塾の活動を自社のメールニュースで紹介するとともに、朝塾と共催で「プロフェッショナルから学ぶ30代の仕事の流儀」と題したシン

ポジウムを2月5日に開催しました。シンポには25名が参加し、藤島運営委員の司会進行のもと平本塾長の放送記者生活での仕事体験を披露しながら、「働くことの意味」などについて参加者との意見交換をしました。このシンポを通して朝塾への参加募集も行いました。

| 築地朝塾歴代講師&講演テーマ一覧 |                               |  |
|------------------|-------------------------------|--|
| 敬称略              | 肩書きは講演当時のもの                   | 講演順  |
| <b>2015年秋塾</b>   |                               |  |
| 岡本 行夫            | 外交評論家・元総理補佐官                  | 「みなさんが世界に羽ばたくために」  |
| 藤井 裕久            | 元財務大臣                         | 「私が安保法制に正面から反対する理由」  |
| 丸島 俊介            | 日本弁護士連合会元事務局長                 | 「21世紀日本社会の課題と人材育成」   |
| 北代 耿士            | 日本エアリアル取締役会長                  | 「あなたは世界で戦えますか」   |
| 宮家 邦彦            | キャノングローバル戦略研究所研究主幹            | 「新民主主義の危険」   |
| 堤 伸輔             | 新潮社編集委員                       | 「難しい人との付き合いを避けるな」  |
| 佐野 尚見            | 松下政経塾塾長                       | 「松下幸之助の経営理念と松下政経塾」   |
| 安藤 優子            | ニュースキャスター                     | 「人から話を聞き出す術」   |
| 小笠原 倫明           | 元総務省事務次官                      | 「情報通信の現状と課題」   |
| 由紀 さおり           | 歌手                            | 「私の中のイノベーション」  |
| 森田 正光            | 気象予報士                         | 「地球温暖化による環境への重大な危機」  |
| <b>2016年春塾</b>   |                               |  |
| 野田 聖子            | 衆議院議員                         | 「政治家として、今思うこと」   |
| 御厨 貴             | 東京大学名誉教授                      | 「政治家の見極め方」   |
| 山口 由美            | ノンフィクション作家                    | 「富士屋ホテルに夢を掛けた男たち」  |
| 諸田 玲子            | 歴史小説家                         | 「語りかけてくる歴史と向かい合って」   |
| 関口 宏             | 司会者                           | 「テレビと歩んで半世紀」   |
| 野副 正行            | 元ソニーエンターテインメント社長              | 「グローバルな視点と変化を恐れぬ勇気を」   |
| 萩野 慎二            | NEC「はやぶさ」プロジェクトディレクター         | 「はやぶさ1号成功への苦闘」   |
| 筒井 修             | 「和僑」創設者                       | 「和僑、外国で生き抜く日本人」  |
| 坂本 光司            | 法政大教授                         | 「日本でいちばん大切にしたい会社」  |
| 音 好宏             | 上智大教授                         | 「メディアと権力」  |
| 早野 透             | 元朝日新聞政治部                      | 「田中角栄の時代」  |
| <b>2016年秋塾</b>   |                               |  |
| 出口 治明            | ライフネット生命保険会長                  | 「無敵の50代になるために、今やるべきこと」                                       |
| 石破 茂             | 前地方創生担当相                      | 「人口減少に向き合い、地方創生で次の日本をつくる」                                    |
| 外山 滋比古           | 英文学者、エッセイスト                   | 「生活の中の思考」  |
| 松井 秀文            | 元アフラック会長                      | 「経営で大切にしたこと」   |
| 岸井 成格            | 毎日新聞特別編集委員                    | 「日本の政治、そしてメディアを考える」  |
| 大坪 文雄            | パナソニック特別顧問                    | 「ものづくりを考える」  |
| 谷川 浩司            | 日本将棋連盟会長                      | 「常識外の一手」   |
| 高原 耕三            | 真言行者、元総務省総務審議官                | 「私の体験的信仰談」   |
| 高木 ゆかり           | IMG Media シニア副社長              | 「スポーツビジネスの世界を生き抜く」   |
| 岡本 行夫            | 外交評論家・元総理補佐官                  | 「トランプ政権下の日米関係を読む」  |
| 秋葉 忠利            | 前広島市長                         | 「オバマ大統領の広島訪問とその意味。トランプ勝利の背景との関連も」                            |
| <b>2017年春塾</b>   |                               |  |
| 古賀 誠             | 元自民党幹事長                       | 「私の政治活動を振り返って」   |
| 古賀 信行            | 野村ホールディングス取締役会長               | 「これからの日本に必要なモノ」  |
| 後藤 康浩            | 亜細亜大学教授・中国問題                  | 「下がる中国、上がる中国～激変中国を見逃すな」                                      |
| 鈴木 幸一            | インターネットインアジア代表取締役会長           | 「序奏から次へ、インターネットが変える社会」                                       |
| 藻谷 浩介            | 日本総合研究所調査部首席研究員               | 「アベノミクスの空騒ぎと日本経済の実相」   |
| 澤地 久枝            | 作家                            | 「瀬戸際の民主主義」   |
| 伊東 豊雄            | 建築家                           | 「建築で日本を変える」  |
| 山縣 裕一郎           | 東洋経済新報社代表取締役社長                | 「メディアが直面する現状と課題」   |
| 御厨 貴             | 東京大学名誉教授                      | 「天皇退位問題からこの国を問い直す」   |
| 川上 かおり           | ハット研究所所長                      | 「ISを生んだ中東情勢」   |
| 堀内 丸恵            | 集英社代表取締役社長                    | 「出版業界のこれからの姿」  |
| <b>2017年秋塾</b>   |                               |  |
| 野田 佳彦            | 前内閣総理大臣                       | 「内外情勢について」   |
| 細貝 淳一            | (株)マテリアル社長「下町ボブスレー」著者         | 「『下町ボブスレー』の挑戦」   |
| 中村 敦夫            | 俳優                            | 「線量計が鳴る」   |
| 野嶋 剛             | ジャーナリスト                       | 「朝日新聞から国際ジャーナリストへ」 <small>一紙とウェブを使い分け、国境を越える発信を模索する道</small> |
| 亀石 倫子            | 弁護士                           | 「国民が「気をつけて」しまう社会には 暮らしたくない」                                  |
| 菅付 雅信            | 編集者 (株)グリーンテック代表取締役           | 「物欲なき世界の先にあるもの」  |
| 与良 正男            | 毎日新聞専門編集委員                    | 「政治の行方 メディアの行方」  |
| 佐高 信             | 評論家                           | 「いま、日本を読む」   |
| 岡 康道             | クリエイティブディレクター、CMプランナー、コピーライター | 「意表をつきながら、本質をつく」   |
| 泉谷 直木            | アサヒグループホールディングス会長             | 「信念・気概・矜持」   |
| 呉 公太             | 在日本大韓民国民団 中央本部 団長             | 「民団70年の歩み」   |

#### 平本 和生 BS-TBS取締役会長(現職)

1969年 早稲田大学 政治経済学部卒業、東京放送に入社。テレビ本部報道局テレビニュース部、政治部を経て、84年に外信部ワシントン特派員。88年10月～90年3月まで「JNNニュースコープ」のメインキャスターを務める。その後、政治部長、報道局長、TBSビジョン社長、TBS常務・専務を歴任。2009年から14年6月までTBSホールディングス取締役兼BS-TBS社長を務めた。



秋塾終了後に開かれた「夜塾」。時間を忘れて懇談を重ねました。

恒例の「夜塾」は11月28日、東京・内幸町の日本記者クラブで開かれました。眼下に日比谷公園の夜景を見ながらの楽しいパーティ形式の会です。平本塾長から第5期、秋塾の総括と「私は現役から上がったつもりなのですが、残された日々を会社から離れて自分のエネルギーを日本を支えてほしい次の世代の皆さんのために使ってみようと思っています。私を通して極めた人たちの生の声を聞近で聴いてほしいというのが願いです。皆さん一人一人がこの不透明な国の中で絆を深めてしっかりと歩んで欲しい、と思っています。輪が広がっていきま

### 夜塾で楽しい交流 塾生相互の親睦活動も広がる

塾生相互の交流は夜塾以外でも続いています。フェイスブックなどでも紹介していますので参加ください。最後に朝塾の応援団長を自認する外交評論家の岡本行夫さんが「牛後となるも鶏頭となるなかれ」という言葉を送りたい。本来使われている言葉とは全く逆です。つまり、牛の群れの一番後ろについている限りは努力によってもう少し前に行けるのです。鶏の頭だったらそれ以上前に行けないわけです。優れた人たちに肉薄してその人の人生論とかすべてのものを盗み取る気概で、真似して実行することは恥ではないのです。会社の立派な上司とか尊敬する人に食いついて、一歩でも前へ行くことを考えてほしい」と話し、締めくくりました。

### 満足度は95% 塾生アンケート

朝塾では、第5期2017年秋塾最後の昨年11月28日に、今後の塾のより良い運営の参考にしようと、54人の塾生を対象にアンケートを行った。20人(男性17人、女性3人)が回答を寄せ、「とても満足」が80%(16人)、「やや満足」だったのが15%(3人)という結果だった。

回答そのものが少なく、そのまま実態を表しているとは断定できないが、満足をした塾生は合わせて95%と、そうそうたる人たちの生の声を聴いて十分に堪能したと思われる。残り「どちらでもない」で、手前味噌的な分析かも知れないが、不満を持った塾生は一人もいなかったことになる。個々の声を見ると、「どの方の講義も非常にわかりやすく、かつ、レベルの高い話で、教養を培う面でも人生の成長の面でも役立った」(30代、男性、会社員)や「朝から頭が活性化して、1日を有効に使えた。講師の皆さんが多ジャンルの方で、自分の知らないことが多いと気付かされた」(40代、男性、マスコミ営業)など素晴らしい方々の貴重な話に感動したものが多かった。また、「普段の日常では接することができない第1線の方々のお話を聞近で聞けて大変に刺激になりました」(50代、男性海運会社員)▽「どの回も普段会えない皆さんのとんがった話、空気感が刺激になりました」(50代、女性、会社員)▽「毎回素晴らしい講演者から本音の話を伺うことができ、本当に最高の会です」(50代、男性、会社員)——といった簡単に会えない人たちの話を聞くことで感激した声もあった。40代の男性会社経営は「講演される方々の人選やタイミングが秀逸でした。1次ソースに触れる機会は本当に貴重だと思っています」という声を寄せてくれた。

【2017秋塾 塾生アンケートから(敬称略)】  
9月5日 野田 佳彦 講演★首相経験者という日本に数少ない方の自由に語る話が聞けたのは良かった(30代、男性、会社員)

9月12日 細貝 淳一 講演★技術をどのようにして社会に役立てるか、またリーダーシップの在り方や技術の応用方法について学べた(20代、男性、学生)

9月19日 中村 敦夫 講演★自分で持っているイメージと全く違った信念を持った活動を続けている(60歳以上、男性、無職)

9月26日 野嶋 剛 講演★私も書くことで仕事をしたいと思っており参考になった(50代、女性、会社員)

10月3日 亀石 倫子 講演★絶対お忙しいのに先生がおきれいで驚きました。あのGPS事件の裏側のお話が興味深かった(20代、女性、会社員)

10月17日 菅付 雅信 講演★膨大な勉強量に裏付けられた信念を感じました。「ひたすら頭と体を鍛え、それが楽しめる人が勝つ」に共感(50代、男性、広告代理店勤務)

10月24日 与良 正男 講演★政治情勢や過去の経緯などを客観的にわかりやすくお話いただき、総選挙直後というタイミングもあり非常に興味深く拝聴しました(50代、男性、会社員)

10月31日 佐高 信 講演★物事の本質を見慣れている気がしてとても刺激的だった(30代、男性、公認会計士)

11月7日 岡 康道 講演★クリエイティブエージェンシーを立ち上げて、世の中に作品で勝負してきた背景やチャレンジがとても心に残った(40代、男性、会社経営)

11月14日 泉谷 直木 講演★親しみやすいやさしい口調の中で、社会人としての気概を伺うことが出来ました。会社を前進させていく上で常に必要とあらば新しい組織を作り改革を進めていく企業の強さが印象に残りました(50代、男性、会社員)

11月21日 呉 公太 講演★韓国が肝心な場面で不可解な行動に出る理由や背景事情を解き明かしてもらい、自身の理解が前に進んだ(60歳以上、男性、個人)